

議長記者会見（第41回）会見録

日時：令和3年12月17日（金）

午後2時15分から

場所：石川県議会議事堂

議長応接室



会見を行う向出議長（右）と安居副議長（左）

それでは、今定例会を終えて、所感を少し述べさせていただきます。

最初に、谷本知事の退任表明についてであります。

先月17日の記者会見と今定例会開会日の議案説明で、谷本知事は、「来年春に予定されている知事選挙には立候補せず、現在の任期をもって退任する」と表明されました。

谷本知事は、平成6年、知事に就任以来7期27年あまりにわたり、石川県の発展に全力で取り組んでこられました。

私自身にとりましても、谷本知事が副知事に就任された平成3年からおよそ30年間、県議会議員として、知事とは議論を重ねながら、石川県の発展のため、ともに全力で取り組んできたところであり、これまでの知事の功績を振り返ると大変感慨深いものがあります。

知事との思い出を挙げればきりがありませんが、私の地元、加賀市の大聖寺市街地と加賀温泉駅とを結ぶ「大聖寺道路」の建設にあたって、知事には、その必要性を訴える地域の声を丁寧に聞き取っていただき、県が先頭に立って本道路を整備いただいております。これもひとえに知事の英断によるものであり、地元議員としても大変感謝しております。

こうした感謝の声は、加賀だけでなく、能登地域をはじめ、県内の至る所で耳にします。これは、県全体に広く目を配り、県民一人ひとりの声を大切にする知事の姿勢によるものと思っております。

あらためて、谷本知事のこれまでの多大なご尽力に心から敬意と感謝を表するとともに、任期満了までの間、引き続き、県政の推進に取り組んでいただくことを心からお願い申し上げる次第であります。

次に、新型コロナウイルス感染症についてであります。

新型コロナウイルス感染症につきましては、あらためて、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、感染された方々に心からお見舞いを申し上げたいと思えます。

ご承知のとおり、全国的に感染状況が落ち着きを見せてきたことところですが、本県では、引き続き、感染防止対策を図りながら、経済の回復に向け、10月8日から「Go To イートプレミアム」と「県民旅行割」が再開されました。

これも、県民や事業者の皆様方に感染防止対策にご協力をいただいたおかげであり、あらためて心より感謝を申し上げたいと思えます。

しかしながら、世界的には感染が再拡大をしており、また、感染力が非常に強いとされる、新たな変異株のオミクロン株が急速に拡大しつつあり、医療従事者や関係の皆様方には、引き続き、ワクチン接種をはじめとした感染拡大防止に向けた取り組みにご協力いただくことを心からお願い申し上げる次第であります。

県議会としても、引き続き、感染防止を徹底しながら、経済を回復させていくため、様々な施策が機を逸することなく実行できるよう、知事・執行部と連携を図りながら、全力で取り組んでいく所存です。

次に、今定例会を振り返ってであります。 「いしかわ森林環境税」の課税期間の5年間延長に係る条例改正案や、地域経済の正常化に向けた需要喚起策などを盛り込んだ補正予算案等の議案に係る審議のほか、文化振興、観光施策、学校教育など多岐にわたり、論戦が繰り広げられました。

執行部においては、今定例会での議員からの質問の趣旨を十分に踏まえた上で、施策の実行に取り組んでいただきたいと思います。

次に、今定例会中に可決された意見書についてであります。 「意見書等調整会議」におきまして、調整等された結果、各会派から提案のあった9件の意見書のうち、「子供たちの学びの更なる充実を求める意見書」 など4件が可決されました。

可決された意見書4件については、議会としていずれも国へ要望するものであり、国会及び関係行政庁へ提出することとしております。

次に、今年を振り返ってであります。今年、本県ゆかりの選手が目覚ましい活躍をされました。

東京オリンピック・パラリンピックでは、過去最多となる5名の本県ゆかりの選手が見事

メダルを獲得され、本県としては初めてとなる2つの金メダルを獲得されました。

さらに、先月開催された世界トランポリン競技選手権大会では、女子団体で見事2連覇を果たされました。森ひかる選手、高木裕美選手、佐竹玲奈選手、太村成見選手の4名には、その功績を称え、明日、石川県スポーツ特別賞が贈呈されることが決定されております。

選手の皆さんにおかれましては、今後も研さんを重ねられ、さらなるご活躍を心から期待するものであります。

このほか、北陸新幹線の整備については、小松駅と加賀温泉駅の新駅舎の外観が姿を見せるなど、県内全線開業に向けた県民の期待も高まってまいりました。

私自身、先月東京で開催された北陸新幹線建設促進大会に出席し、同日、議会を代表して中央要請にも参加させていただいたところであり、引き続き、金沢・敦賀間の令和5年度末までの確実な開業及び、敦賀・大阪間の令和5年度当初の着工とフル規格による早期全線整備に向けて、国に対して強く働きかけてまいりたいと考えております。

新県立図書館については、このほど建物本体が完成し、明日18日から実施される建物見学ツアーには、定員の7倍となる約7千人の応募があったと聞いております。新県立図書館に対する県民の期待と関心は大きく、執行部には来年の開館に向け、さらにその機運を高める取り組みを期待しております。

デジタル化の推進については、「石川県デジタル化推進基本計画」の策定作業が進められており、近く策定が完了する見込みと聞いております。県議会としても、15日に開催された議会改革推進会議において、「議会におけるデジタル化の推進」を検討課題として取り組んでいくこととしております。

最後に、北陸3県議会議長会議及び、3県議会議員を対象とした議員研修会が来月18日に金沢市内で開催されます。

議員研修会には、講師にJR西日本の漆原金沢支社長をお招きすることとしております。多数の議員にご参加いただき、実りある研修会となるよう期待しております。

私からは、以上であります。

<質疑応答>

記者

北陸新幹線の話がありましたが、同盟会の会長はずっと富山県知事であったのが、福井県知事となって、いよいよ県内全線開業から福井へとステージが移るのかと思います。

先ほど、3県の研修会の話がありましたが、今後も3県の議員が連携して次に、というお考え、抱負はありますか。

向出議長

特に、結論めいたものはありませんが、当然のことながら、北陸にとっては大切な事

業ですので、福井県とも連携しながら、陳情なり請願なりしていきたいと考えております。

記者

ありがとうございました。

以 上